

粟国島におけるクビワオオコウモリ *Pteropus dasymallus* Temminck, 1825 (翼手目: オオコウモリ科) の初記録 大沢啓子¹・嵩原建二²・山城正邦³・四方正良⁴・大沢夕志¹

¹埼玉県川越市 (fruitbat@mwc.biglobe.ne.jp)

²〒905-0006 沖縄県名護市宇字茂佐760 沖縄県立名護特別支援学校

³沖縄県うるま市 沖縄野鳥の会

⁴〒901-3702 沖縄県島尻郡粟国村字東1142 一般社団法人粟国村観光協会

要旨. 沖縄諸島粟国島で、2012年1月以来、断続的にクビワオオコウモリのペリットが発見され、2013年1月には複数頭の姿を確認した。

はじめに

那覇市の北西約60 kmに位置する粟国島は、面積7.64 km²、周囲12.17 kmの島嶼であり、オリイオオコウモリ *Pteropus dasymallus inopinatus* Kuroda, 1933 が生息する沖縄島からは約50 km、最も近い生息記録がある慶良間諸島阿嘉島 (Nakamoto et al. 2011) からは約40 km 離れている。粟国島については、最近までオリイオオコウモリの記録はなかった (中本 2009; Nakamoto et al. 2011) が、2012年1月に筆者の一人である嵩原が、オオコウモリ類が果実等を採餌した際に吐き出されるペリットを発見して以降、断続的にペリットが確認され、また2013年1月には複数頭の姿を確認したので報告する。

なお、今回観察したオオコウモリについては、調査地がクビワオオコウモリの分布域内であること、頸部に首輪状の淡色の模様が見られること及び下腿部の背面に毛があること (Kinjo & Nakamoto 2009) から、コウモリ目 Chiroptera オオコウモリ科 Pteropodidae に属するクビワオオコウモリとしたが、食痕及び写真のみの記録であり、捕獲等による計測はしていないため、亜種の判定はしなかった。

調査方法及び結果

島内において、ペリットの有無の確認及び夜間にクビワオオコウモリの探索を行った。以下、確認事例を報告する。

2012年1月15日、嵩原が、粟国港前の公園 (図1 地点 A) に植栽されているモモタマナ *Terminalia catappa* の下でモモタマナの果実のペリットを発見した。

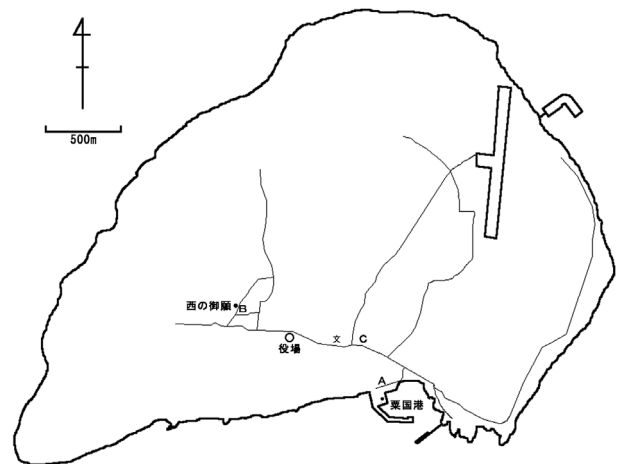


図1. クビワオオコウモリ及びペリットの確認場所 (2012年). A, 1月15日 モモタマナ果実のペリット; B, 11月10日 モモタマナ果実のペリット; C, 11月10日 モモタマナ果実のペリット; B, 12月22日 目撃 (飛翔).

Fig. 1. Map of Aguni-jima Island showing where ejecta pellets and living individuals of *Pteropus dasymallus* were observed. A, Pellets of *Terminalia catappa* fruit on January 15, 2012; B, Pellets of *Terminalia catappa* fruit on November 10, 2012; C, Pellets of *Terminalia catappa* fruit on November 10, 2012; B, Direct observation of *P. dasymallus* in flight on December 22, 2012.

2012年11月10日、山城が、西の御願近くの公園 (図1 地点 B) 及び学校グラウンド (図1 地点 C) でモモタマナの果実のペリットを発見した。

2012年12月22日 17:30–18:00、四方が、西の御願から西コミュニティー周辺 (図1 地点 B) を飛翔するクビワオオコウモリ 1 頭を観察した。

2013年1月11–15日、大沢啓子及び大沢夕志が島内を踏査しペリットを発見及びクビワオオコウモリを直接観察した。沖縄県の天然記念物に指定されている「粟国村字西の御願の植物群落」及び周辺の樹林地のまわりや集落の道路沿いで踏査を行ったところ、モモタマナ、テリハボク *Calophyllum inophyllum*, アコウ *Ficus*

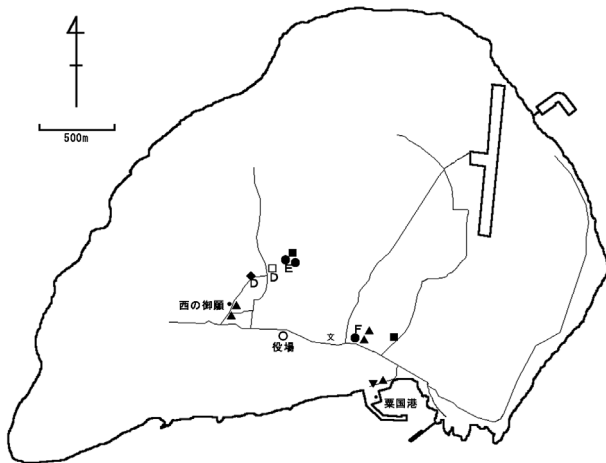


図 2. 2013 年調査時におけるクビワオオコウモリの確認場所. ▲, モモタマナ果実のペリット; ●, アコウ果実のペリット; ■, ガジュマル果実のペリット; □, ガジュマルの葉のペリット; ◆, ハマイヌビワ果実のペリット; ▼, テリハボク果実のペリット; D, 1月11日 目撃 (飛翔); E, 1月12日・14日 目撃 (飛翔, 休息, アコウ果実採食); F, 1月14日 目撃 (アコウ果実採食).

Fig. 2. Map of Aguni-jima Island showing where ejecta pellets and living individual of *Pteropus dasymallus* were observed during surveys in 2013. ▲, pellets of *Terminalia catappa* fruit; ●, pellets of *Ficus superba* fruit; ■, pellets of *Ficus microcarpa* fruit; □, pellets of *Ficus microcarpa* leaves; ◆, pellets of *Ficus virgata* fruit; ▼, pellets of *Calophyllum inophyllum* fruit; D, direct observations of flying *P. dasymallus* on January 11, 2013; E, direct observations of *P. dasymallus* that were flying, resting, and eating *Ficus superba* fruit on January 12 and 14, 2013; F, direct observation of *P. dasymallus* that was eating *Ficus superba* fruit on January 14, 2013.

superba, ハマイヌビワ *Ficus virgata*, ガジュマル *Ficus microcarpa* の果実のペリット及びガジュマルの葉のペリットを発見した. また, 11日, 12日, 14日には, クビワオオコウモリを直接観察した (図 2 地点 D-F). ペリットの発見場所及びクビワオオコウモリを目撃した場所を図 2 に示す. 14日には, E 地点で 21:23 までに少なくとも 2 頭を観察し, 写真撮影をした (図 3X, Y). その約 20 分後に約 650 m 離れた F 地点で 1 頭を観察し, 写真撮影をした (図 3Z). 体毛の色合いの違いからこの 3 頭は別個体と考えられ, また, このうちの少なくとも 2 頭はオスであった.

謝辞

埼玉県こども動物自然公園の天野洋祐氏には貴重な情報を頂いた. 琉球大学の中本敦博士には, 助言を頂くと共に貴重な資料を頂いた. ま



図 3. 観察されたクビワオオコウモリ. X, 休息中の個体 (E 地点, 2013.1.14 撮影); Y, アコウを採餌中の個体 (E 地点, 2013.1.14 撮影); Z, アコウを採餌中の個体 (F 地点, 2013.1.14 撮影).

Fig. 3. Direct observation of *Pteropus dasymallus*. X, resting individual (photographed at Point E on January 14, 2013); Y, an individual eating fruits of *Ficus superba* (photographed at Point E on January 14, 2013); Z, an individual eating fruits of *Ficus superba* (photographed at Point F on January 14, 2013).

た、粟国島の方々には調査にご理解頂くと共に便宜を図って頂いた。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

引用文献

- Kinjo, K. & A. Nakamoto, 2009. *Pteropus dasymallus* Temminck, 1825. In: S.D. Ohdachi, Y. Ishibashi, M.A. Iwasa & T. Saitoh (eds.), The Wild Mammals of Japan. Shoukadoh Book Seller, Kyoto, 52–53.
- 中本敦・佐藤亜希子・金城和三・伊澤雅子, 2009. 沖縄諸島におけるオリエオオコウモリの分布と生息状況. 哺乳類科学, 49(1): 53–60.
- Nakamoto, A., S. Itabe, A. Sato, K. Kinjo & M. Izawa, 2011. Geographical distribution pattern and interisland movements of Orii's flying fox in Okinawa Islands, the Ryukyu Archipelago, Japan. Population Ecology, 53: 241–252.

A new record of the Ryukyu flying-fox *Pteropus dasymallus* Temminck, 1825 (Chiroptera: Pteropodidae) from Aguni-jima Island

Keiko Osawa¹, Kenji Takehara², Masakuni Yamashiro³, Masayoshi Shikata⁴ & Yushi Osawa¹

¹ Kawagoe City, Saitama, Japan
(fruitbat@mwc.biglobe.ne.jp)

² Nago Special Needs Education School, 760 Umusa, Nago City, Okinawa 905-0006, Japan

³ Wild Bird Society of Okinawa, Uruma City, Okinawa, Japan

⁴ Aguni Village Tourism Association, 1142 Aza-higasi, Aguni, Shimajiri, Okinawa 901-3702, Japan

Abstract. Ejuncta pellets of the Ryukyu flying-fox, *Pteropus dasymallus*, were found in January 2012 on Aguni-jima Island for the first time. Subsequently, additional ejuncta pellets were discovered several times, followed by direct observation of *P. dasymallus* in January 2013.

投稿日: 2013 年 4 月 14 日

受理日: 2013 年 5 月 16 日

発行日: 2013 年 5 月 26 日